

## 桜花会主催 AGC株式会社中央研究所見学会

2019年10月18日(金)

一杉 太郎 (桜花会常任幹事)

物質理工学院 応用化学系 応用化学フォーカス3年次学生を対象として、AGC株式会社中央研究所(横浜市神奈川区)の見学会が開催されました。

AGCと本学は、2019年7月1日に「AGCマテリアル協働研究拠点」を学内に開設し、組織間の大型連携による成果創出を目指しています。この拠点では、本学が有する物質・材料を含む幅広い学術的知見と、AGCが培ってきた技術力を融合し、これまでの個別研究では難しかった組織対組織の総合的な研究開発を行っています。その連携をも考慮し、本年度、AGC中央研究所見学の運びとなりました。

曇り空の中、13:00に大岡山駅前に3年次学生が集合し、東急大井町線と東横線を乗り継いで横浜駅に到着しました。その後、岩倉桜花会会長と共にバスに30分程度乗車して中央研究所に到着しました。緑豊かな構内で記念撮影をした後、会社概要の説明が14:45からスタートしました。ここから、多くの社員の方々にお世話になりました。

まず、技術本部企画部の伊勢村次秀様からAGCの事業内容、技術の強み、および中央研究所の紹介がありました。その後、3つの班に分かれて本学OB/OGの引率により、展示室での製品説明、機器分析室、燃料電池評価、研究開発用ガラス作製工程を見学させていただきました。会社説明や見学を通して、世界トップレベルの素材メーカーが幅広い分野で事業展開していることがよくわかりました。

最後に、四つの小グループに分かれ、本学OB/OGと懇談する機会がありました。学生からの多数の質問に対して、リラックスした雰囲気の中で丁寧に回答してくださいました。給与のことなど聞きにくいことも含めて、いろいろと答えてくださったと聞いております。そして、17:00頃の閉会となりました。

初めて企業の研究所を見学した学生も多く、活躍する先輩たちの姿も見て、学生達は知見を広げるとともに大いに刺激を受けたことと思います。見学会後には学生同士の懇親を目的とする懇親会が学生主催で開催されました。同期間の横のつながりを作る良い機会となりました。



AGC株式会社中央研究所構内にて。28名の参加学生と、引率の岩倉会長(前列右端から二番目)、一杉教授(前列右端)。